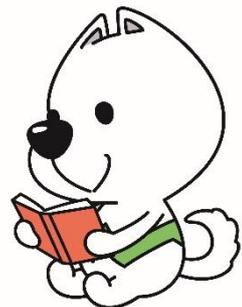


令和5年度 読書推進フォーラム

本もって集合！
「本との出会い」を楽しもう！

報告書



概要

令和5年度 読書推進フォーラム（紀北会場）

1 テーマ

本をもって集合！「本との出会い」を楽しもう！

2 趣旨

自分が読まないような本との出会いや、本をとおした人との出会いを楽しむ機会をつくるとともに、本や読書のおもしろさを広げようとしている人の活動を後押しする。

また、読書をとおして思考することが、参加者の生涯にわたる学びを支え、豊かな生き方につながることを伝える。

3 主催

和歌山県教育委員会

4 対象

どなたでも

5 日時及び会場

日時 令和6年1月27日（土）13:00～16:30

会場 和歌山県民文化会館

【記念講演】大ホール 【本の交換会】3階特設会議室

〒640-8269 和歌山市小松原通一丁目1番地（TEL：073-436-1331）

6 参加者数 830名

7 日程

(1) 本の交換会（前半）

(2) 開会

(3) 記念講演 「読むこと、考えること、生きること。」

講師 東京大学名誉教授 養老 孟司 氏

(4) 本の交換会（後半）

(5) 閉会

12:00	13:00	:40	:50	14:00	15:20	16:20	:30
受付	本の交換会	移動	開会	記念講演	本の交換会	閉会	

記念講演

「読むこと、考えること、生きること」

東京大学名誉教授 養老孟司 さん

【日本人の体の6割は外国製！？】

- 0.2mm の卵が 50kg の体に育つ
体をつくる食べ物は、海山川・田んぼや畑から
- 食料自給率（カロリーベース）が約 40%ということは…
→自分をつくるものの6割を外国から運ばなければならない時代

【日本語の特徴は外国語を読むとピンとくる】

- アルファベットの言語は「音（おと）」を表す
日本語は音訓読みで「意味」を表す
- 脳の中で、仮名を読む機能と、漢字を読む機能の場所が違う
仮名は「音」、漢字は「意味」を表す
→日本語を使う人は「意味」を重要視する
- 日本語には、漫画が普及する土壌があった

【an apple と the apple は何が違う？】

- 日本語は「〇〇する（動詞）」を中心とした言葉（行為遂行型）
欧米の言葉は名詞（≒概念）が中心（概念型）
→定冠詞（a）と不定冠詞（the）を区別する、概念中心の言葉
- 「どこのどれでもない1つのリンゴ」と「このリンゴ」
→「概念としてのリンゴ」と「感覚でとらえられる、具体的なリンゴ」
- 感覚は「違い」に気づき、概念は「同じ」にしたがる
いろいろな犬がいる→どれも「イヌ」
会場に大勢の人がいる→全員「ヒト」
- 具体的に「イヌとは？」を説明できないが、「わかったことにする」のが概念

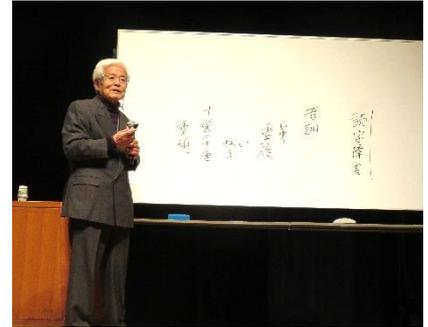
【ものを「読む」とは「概念の世界で暮らすこと」】

- 現実世界で感覚的に「違う」ものも、言葉にすると「同じ」とすることができる



【言葉で表現できないものは「ない」ものなのか】

- 「言葉で言えないことはない！」と考える欧米系
→英語にならないものは「存在しないことと同じ」
- 「言葉で言えないことはたくさんある」
→日本語は「このくらいで納得してよ」の以心伝心



【「考える」とは「自分で自分の頭の中を整理すること」】

- 考えたことの説明を「わかってくれる」人は意外と少ない
- 「考えたこと＝自分の頭の整理」
→他人の頭の整理に役立つかどうかはわからない
- 「考える」のは自分がすること
「みんなで考えよう」は変
→「誰か代わりに考えてくれ」と怠けていないか？

【「生きる」と「死ぬ」は補い合って全体になる】

- 反対語ではなく「補完語」
「生きる」と「死ぬ」が一緒になって人生
→対立するものでも、別のものでもない
- ビンに残る半分のお酒
「まだ半分残っている」と「もう半分飲んでしまった」
→「入っている部分を見る」と「空の部分を見る」の両方で、現在の酒の量

【「意識」って一体なんだ？】

- 「意識」に科学的な定義はない
どこから生じて、どんなものか、定義できていない
- 定義できていない「意識」を信用してつくった社会＝「脳化社会」
- ひとりでいなくなり、ひとりで戻ってくる「意識」
→簡単に出たり引っ込んだりする「意識」が確かなものか、疑わしい
「意識」ってそんなに偉いものなのか？

【科学が進むとわからないことが増える】

- 拡大すると見えることが増える
→見尽くすことができないほど、わからないこと・調べることが出てくる
- ウイルスが「ちゃんと見えた」ら、世界が「ちゃんとわかってきた」のか
→わからない部分が膨大になっているはず

【生きているのは「等身大の世界」】

- 拡大して見る「科学的な世界」で生きるのは無理な話
 - 人の生老病死は自然なもの
 - 生：生まれるところは家ではなく病院
 - 老：年をとると施設や病院の世話になる
 - 病：病気になると病院に入る
 - 死：自宅ではなく病院で死ぬ
- 意識の世界では生活から取り除かれ、システムの中に入る
病院で生まれて病院で死ぬ、「仮退院中」の身
「良い／悪い」ではない

【天災で日本が変わる】

- 震災で社会がガラッと変わる
 - 歴史を乱暴に辿ったタイミングで震災が起きているように思う
 - 「社会が変わる」のは「人々の心（感じ方・考え方）」が変わるから

【「どうすればいいんですか？」】

- 変えられない「悪い習性」
 - 頭の中でシミュレーションして、その筋に合うように動こうとする
 - 「結果が見えたこと」しかやりたくない
- 結果が見えてないから面白い
 - 「やってみなきゃわからない」をやってみると、自分の感じ方がわかる
 - 「今はこれがいい」と思ってやった結果、自分がどう思うかはわからない
- 状況が変わると自分も変わる
 - 「自分は変わらないもの」と暗黙に決めてしまっていないか？
 - 今の自分がどう感じるかは、やってみないとわからない

【人間は結果が欲しい！】

- 『土を育てる』（ゲイブ・ブラウン著、NHK 出版)
 - 耕さず、肥料や除草剤も使わない農業で経済的に成り立っている
 - 額に汗しなくても成果が出ている
 - 人類1万年の農耕の歴史はなんだったのか
- 患者が病院の外で元気になると医者は面白くない
 - 一生懸命やったから、成果が出たと思いたい

「本の交換会」

本をもって集合！「本との出会い」を楽しもう！

【出展：17 団体（2 団体は展示のみ）】

（展示）和歌山県立図書館

（展示）和歌山市民図書館

（1）よりみち菊谷街角ライブラリー

（2）和歌山文芸クラブ

（3）つかさ食堂

（4）GUILT

（5）詩歌句文庫

（6）I・KO・RA

（7）和歌山おかたづけ CLUB

（8）上秋津焼酎谷倉庫

（9）やなぎや

（10）恵子組 ～wakou 図書部のゆかいな仲間たち～

（11）服&本の交換プロジェクト「GREEN CLOSET」

（12）桃太郎と最高の筋肉

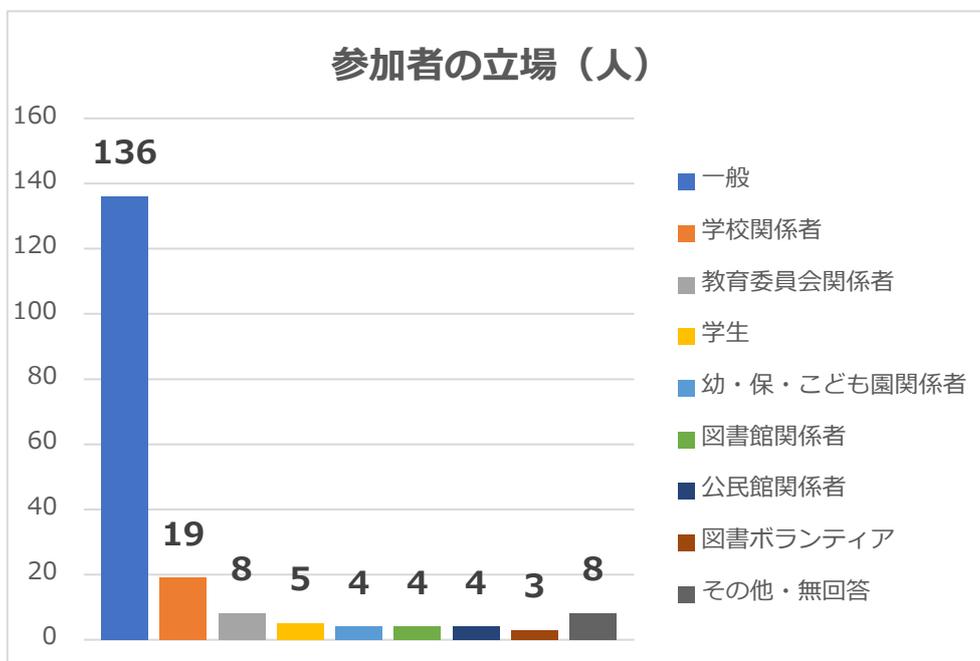
（13）River & Field

（14）響

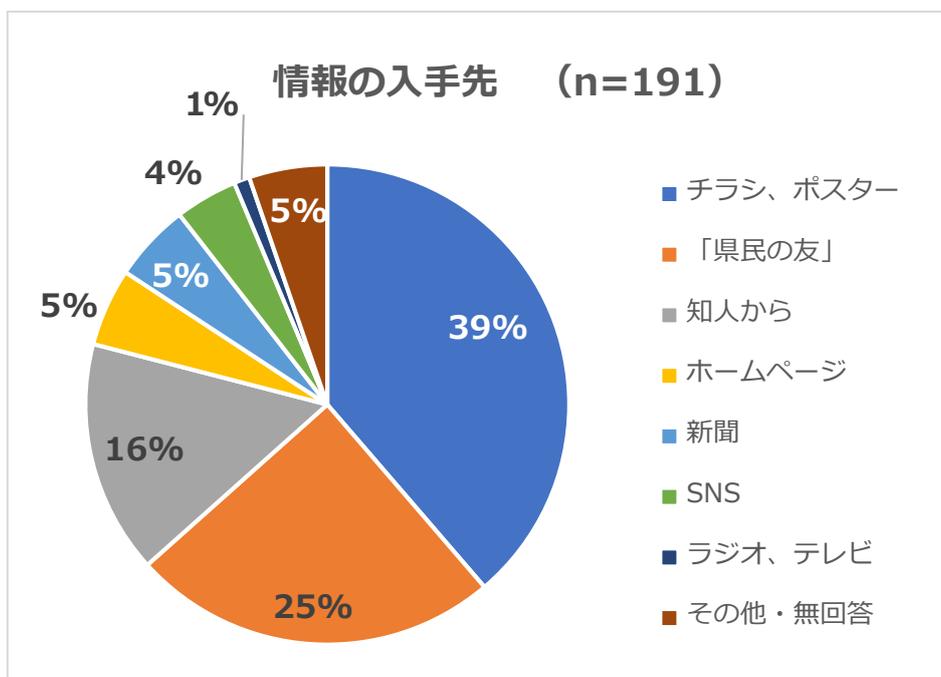
（15）どうぞお読みください



1 本日のフォーラムにはどのような立場で参加されましたか。

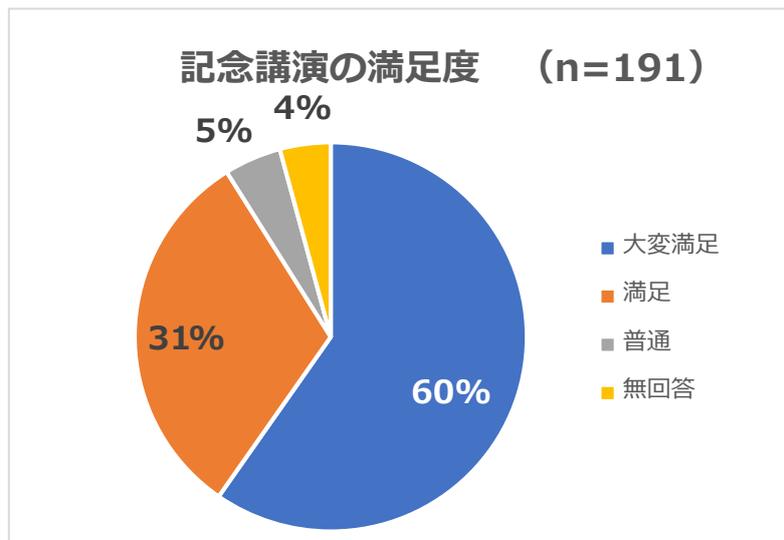


2 本日のフォーラムをどのようにして知りましたか。



3 本日のフォーラムの感想をお聞かせください。

① 記念講演



【「読むこと」って難しい?】

- 欧米人は「言葉にならないことは存在しないことになる」という考えだと言われて、大変納得した。マスメディアに流される一面的な情報ではない、「概念」「生死＝補完性」などについての考察が非常に有意義だと感じた。こうした情報に触れるにはどうしたら良いのだろうか。一番は生の「講演」、二番目は「本」を読むことだろう。(一般)
- 日本語には、平仮名・カタカナ・漢字があることは当然分かっていることですが、他国の言語と比較し、日本語を読むことの難しさを改めて感じました。(一般)
- 「自国の言葉を知るためにも外国語を知る」など、養老孟司先生のご経験が心に残りました。紹介いただいた本も含め、手に取りたいと思うきっかけになりました。(学校関係者)
- 子供二人を育てる中、本に助けられてきました。紆余曲折する長男は高校時代も、幼児期の本を時々眺めては心を癒やしていました。本に夢中になる次男は、本にのめり込み、様々な知識を得てきました。本により非認知能力も育てられた、そして言葉で自己を伝えることなど、多くのことが身についたように思う。(幼・保・こども園関係者)
- 漢字と仮名の読字障害では、対象となる脳の部位が違うなど、日常の意識を相対化させてくれる内容が多々ありました。私は何のために本を読むのか、それは読みたいからに他ならないということを再認識させていただきました。(公民館関係者)

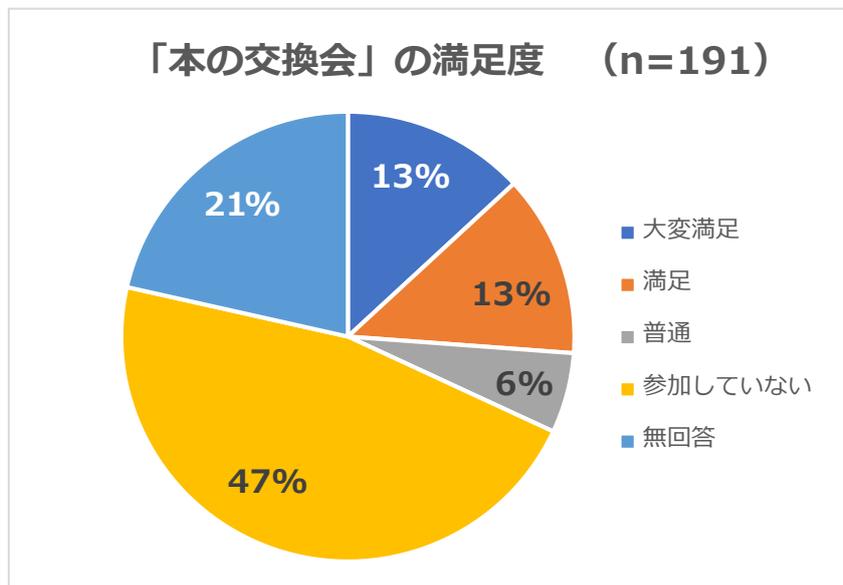
【「考えること」のヒント】

- 養老先生の「考えること」に対するご見解がとても心に残りました。「考えることは自分がすること」「皆で考える」ということはできない。日々の生活の中で実践したいと思います。(一般)
- 考え方・視点が広がったり、変わったりした気がします。もっと柔軟な生き方をしたいと思います。「自然」ということも、もっと考え直したいです。(一般)
- 「考えるとは、自分の頭を整理すること。だから、自分の考えが人の役に立つ訳なんてない。自分で考えよう、みんなで考えよう…という表現は不可思議。どうしたら良いですか？それをしたらどうなりますか？なんて無責任な…」のくだりが面白く、一番の印象になった。(一般)
- 多角的にもものを見ること、物事の本質を見ることなど、大切なことに気づかされる時間でした。(一般)
- 「考えることは、自分にしかできない」、その通りだなあと感じました。(学生)
- 視野が広がり、俯瞰して物事を見ようと思いました。文字の意味などの話が面白かったです。(学生)
- ものの見方を考える、視点を変えてみることも大事だと思った。(図書ボランティア)

【「生きること」をどうとらえるか】

- 先生のお話で、私たちは「受精卵から始まっている」ということを聴かせていただき、違う観点から自分を知れて良かったと思います。小さなものからこんなに大きくなることに、改めて「すごいんだ」と気づかせてくれました。（一般）
- 何かが起こったとき、その前後で人は変わっている。テレビ番組でもそのような言葉を聞いたことがあります。その言葉に力をもらっています。（一般）
- 「『生きる』ことは、やってみないとわからない」という87歳の養老孟司先生の言葉が心にしみました。（学校関係者）

②本の交換会



【本をきっかけにした人との出会い】

- 読書好きな人は大勢いるというのが、実感として体感できました。（一般）
- 様々な活動をされている皆さんのことを知ることができただけでも、大変良かったと思います。刺激になりました。本日は、本の手持ちがなかったので、交換はできませんでしたが。（一般）
- 多くの方と交流でき、感謝です。（一般）
- 講演会の会場にアウトリーチで出展するこの企画そのものが大変良かったと感じています。出展者の方との会話を楽しむこともできました。お目当ての本に出合う喜びを久しぶりに味わいました。（一般）
- 和歌山にも、こんなに読書好きが居たので安心しました。いろいろな方と交流ができて良かったです。（一般）
- いろいろな人とお話ししながら出来て楽しかったです。（学校関係者）
- とても楽しかったです！本の交換だけでなくいろいろな人と話すことができワクワクしました。来年もぜひ開催してほしいです。（学校関係者）
- いろいろな出会いがあり、楽しかった。本も気軽に交換でき、地元のネットワークもつくれました。高校生がいたのも良かったです。来年は市内以外の学校もあれば、面白いかも。（教育委員会関係者）
- 思いのほかたくさんの方が参加されていて驚きました。本に興味や関心のある方が多くて嬉しく思いました。もっと広い会場で、時間もゆっくりとあれば良かったと思います。（その他）

【思いがけない「本との出会い」】

- 自分の欲しい本はなかったけれど、面白い本が見つかった。（一般）
- 参加しないつもりで来ましたが、並べている本を見て、興味を引く本がたくさんありました。来年は本を持って参加したいと思いました。（一般）
- 本を1冊しか持って来なかったことを後悔した。見たことのない本が多くあり、とても迷った。会場をまわるのが楽しかった。（一般）
- もう読まない本を読んだことのない本に換えてもらい、わらしべ長者みたいで、とても楽しい経験でした。（学校関係者）
- 外出を面倒くさがり、ネットでもあまり積極的に本を探すことはしないので、こうして自ら本を探して出会うことのできる機会が出来て、実のある時間になりました。ありがとうございます。（学校関係者）
- 本の交換はしませんでした。各ブース、それぞれ個性的で楽しかったです。（教育委員会関係者）

【「本の交換会」の効果】

- いろいろ楽しい本がたくさんあり、また、自分がおすすめの本を喜んでいただけ、とても楽しく嬉しかったです。もっとこんな場がたくさんあればと思います。（一般）
- 大変良かったです。こんなイベントは初めてです。本は、もったいなくて捨てられませんし、買うのも高価ですね。また何回も本の交換会を実施してください。楽しみにしています。（一般）
- 思いのほか書籍の量が少ないと感じましたが、最近本から離れがちでしたので、また読書を始めるきっかけになり良かったと思います。（一般）
- 古本市でもなく、本に対する愛があふれる場でした。ぜひ定期的に開いていただけたら。（学校関係者）
- 出展者側でしたが、たくさんの参加者の方が来てくれて本についてお話できて楽しかったです。マンガや雑誌もOKで、交換するかどうかそれぞれに任されていて、がちりルールで縛られていないのも良かったです。良い企画だなと思いました。（学校関係者）
- 最初、自分の本を気持ち良く交換してもらえるか気後れしましたが、自分の読みたい本と快く交換してもらえて安心しました。人の読んできた本を覗き見るようで楽しかったです。（教育委員会関係者）
- いろいろな人の本を読んで、たくさんの考え・感じ方を学びたい。（学生）
- 何周もするたびに並べられている本が少し変わっていたりして、何周まわっても楽しめました。（学生）
- 思いがけない本や人との出会いがあり良かった。（その他）

4 「本を読むこと」をはじめとした「学び」や「生涯学習」について、やってみたいことや お考え、ご意見をお聞かせください。

【本をとおした気づきや学び】

- 本を読むことで昔の人の素晴らしい考えから最新の知識まで、パソコンなどではきっと出会えない出会いが、図書館や本屋さんではあると私は思っています。これからも本との出会いを楽しみに暮らしていきたいと思います。（一般）
- 毎週図書館に行きます。自分の本と、3歳の孫のハートをつかみそうな絵本を探すのが楽しみです。孫が喜ぶこともあれば、今ひとつピンとこないときもありますが、私の知らない絵本に出会える機会を与えてくれていると思うと、何ともいえぬ幸福感。これからも孫と新しい世界へ本を通して歩んでいけたら良いなあ、と勝手に思っています。（一般）
- 今まで知らなかったことを知り得たときの喜び。今までと違うジャンルの本にも遭遇したいと思います。（一般）
- 毎日が学習だと思っています。今を大事に！！（一般）

- 和歌山県立図書館を利用させていただいております。これからも、資料の調査をはじめ、自由な学びの場としていただきたく考えております。（一般）
- 知識が繋がっていくところに喜びを感じます。今後も本を読んで人生に深みをもてるよう生きていきます。またの開催をお願いします。（一般）
- 自分が読んだステキな本について、誰かと語り合うことが好きです。自分の考えと違う気づきがあります。職場でそんな時間を楽しんでいます。（一般）
- 子供たちの読書推進のために、司書と協力し取組を行いたいと思います。（学校関係者）
- 活字離れの今、子供たちにもっと読書の楽しさを味わってほしいと思います。我が子と親子で読書を楽しみ、時間を共有できた豊かな経験は、私にとって一生の宝です。そして、これからも私自身、読書に親しみ、より豊かな心で毎日を送っていきたいと思います。（学校関係者）
- 和歌山県とそれほど変わらない人口が少ない鳥取県や滋賀県の図書館に対する本気度を和歌山県も見習って欲しい。ぜひ若い職員さんに視察に行ってもらいたい。（学校関係者）
- これからも本を読んで知った学びを活かして、生きたいです。（学生）
- 最近効率化や自動化が過剰に進み、人と人との関係がどんどん希薄化してきている。人間は機械を相手にして（セルフレジとかスマホとか）人と人が話す機会が減っている。人と人とのコミュニケーションに本が介在すれば、まだまだ広く大きくつながっていく可能性があると思う。（その他）

【イベント開催の意義】

- いろいろな本と出会うきっかけになる。今回のような、小さなイベントが地域であればと思う。（一般）
- 意欲的な方々の活動を、もっと知りたいと思います。（一般）
- 読むことは、生きることに繋がっているとフォーラムを通して改めて感じました。本の交換会は時間の関係で参加できず、残念でしたが、良い取組だと思いました。どんな団体があるのか知るきっかけになったので、参加団体の紹介があるのも良かったです。（一般）

【人生をとおした学び】

- 学ぶということは、どのような内容であろうと自分の人生に大変に役立ってくると思います。（一般）
- 親が本を読む姿を子供に示しているかどうか、子供の読書環境にとって重要だと思っています。親が変わっていかないと、子供の不読率は変わっていかないとします。（教育委員会関係者）



令和5年度 読書推進フォーラム

**本もって集合！
「本との出会い」
を楽しもう！**

日時 令和6年1月27日
13:00-16:30

場所 和歌山県民文化会館 大ホール
(和歌山市小松原通1-1)

記念講演 養老 孟司氏
「読むこと、考えること、生きること。」

同時開催 本の交換会 3種特設会場
「誰かに読んでもらいたい本」
を持ちよって交換しよう！

お申し込み
お問合せ 和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課
TEL:073-441-3720(平日9:00-17:00)
FAX:073-441-3724 Mail: e5006001@pref.wakayama.lg.jp